

「みがき合い、支え合い、心豊かでたくましく生きる生徒」 ＜6月の振り返り＞

(1) 授業改革 (主体的・対話的で深い学び) …「改善」ではない本気の「改革」推進

① 明確な学習課題の設定 (板書計画), 学習形態 (対話) の工夫, まとめ (振り返り) による評価

- 学習課題の設定は意識され, 青枠, 赤枠の板書もかなり定着してきた。
- 学年を複数で受け持つ場合は, 板書計画を写真で撮る等して, 教科内で共有する工夫を。
- 学習課題そのものを吟味する。問題解決型の授業をつくるには「～か?」で終わる課題をつくる。
「～しよう!」で終わる行動目標的な課題はまとめにくい。(「まとめ」から逆算して課題を考える。)

② 「対話的な学び」に対する改善

- セパレートな列→対話しやすいペアや4人グループ, コの字等にする。
- ルールづくり→何を, 誰と, どのように, どれくらい(時間)で活動するかを明確に指示する。
途中で列隊形からグループにすると乱れるので, グループ活動を入れるなら最初から。
グループ内で話し合う時の声の大きさ。机の上に置くもの。
教師の立位置(全体を俯瞰する。グループ活動を評価する。), 教卓で座っていない。
- 思考・表現する活動は, 個→ペア・グループ→全体→個の順で行うのが原則である。
- 振り返り→わかったことやできたことをまとめの時間に必ず自分の言葉で書かせる。

(2) 心の教育 (道徳, いじめ, 生命, 思いやり) …「命の尊さ」「思いやり」の重点的取り組み

① 「いじめゼロ」運動の開催…授業改善や部活動, 委員会活動を主体的に取り組ませることが課題

- いじめアンケートの結果…男子8名 女子14名 合計22名の生徒が訴えてくれた。
- 絶対に見逃せない3つの言葉…「いじめられる方にも原因がある」
「これぐらいで, こんなことになるとは思わなかった。」
「ただ見ていただけだから責任はない」
- いじめは重大な人権問題…いじめは犯罪である。(悪口は名誉毀損罪や侮辱罪, 暴力を伴うものは暴行罪, それによって怪我をすれば傷害罪, 使い走りさせれば強要罪, 等々)
唯一「シカト」だけは取り締まるものがない。だからこそ学校で「より良い人間関係」を学ばなければならない。
- 人間関係をつくるために…「先生は, 学級の生徒全員の良さを三つずつ言えますか?」
「保護者は, 自分の子どもの良さ, 学級(担任)の良さを言えますか?」
「生徒は, 学級や部活の全員の良さを言えますか?」

(3) 安全安心 (健康・体力向上, メンタル, 防災, 食育) …指標を意識した取り組みの推進

- ① 校内適応教室の設置…夏季休業中に設置し, 2学期からの運営を考えたい。
- ② 欠席3日/月の報告と長欠対策会議の開催…個々に対する具体的な対応策を検討しなければならない。
- ③ メンタルヘルスとタイムマネジメント研修の推進…夏季休業に向けての職員会議で実施。

(4) 生徒主体 (行事, 生徒会, 部活) …放任でも管理でもない生徒主体の活動づくり(共に創る)の意識化

- ① 生徒総会での決定事項の実現に向けての動機づけ。…組織的な動きづくりと日常化が課題である。
- ② 各学年の校外学習の検証と日常の学校生活への転化。…報告集会の評価及び共有が課題である。
- ③ 生徒会や委員会提案による学校改善の推進。…学年組織の活用と二極化の解消が課題である。

(5) 三大伝統 (挨拶, 歌声, 清掃) …可視化された具体的な取り組み推進

- ① 「明るく元気な挨拶」→あいさつ運動期間中の改善が継続されないのが課題。来校者に対する挨拶が課題。
- ② 「美しく響く歌声」→歌声交換会を全校にすることで上級生の意識が高くなった。
- ③ 「心を磨く清掃」→活動に対する格差が大きくなっている。プライドを持たせる清掃指導が課題。

(6) 校外学習・宿泊行事…評価の共有が課題(何が良くて, 何が必要な改善かをはっきりさせて引き継ぐ。)